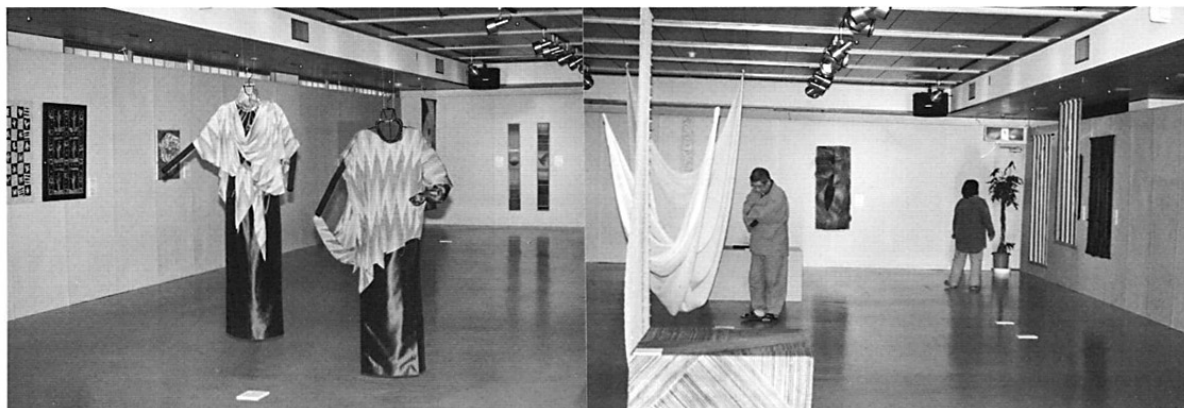


'98 デザインマインドフェア IN 十日町
テキスタイルデザイン ナウⅣ

1998年11月27日(土)～12月1日(火)
(財)十日町地域地場産業振興センターにて

北陸としては昨年の金沢に次いで2度目となります。十日町では地域活性化事業としてデザインマインドフェアが毎年11月に開催されてきました。内容としては展覧会とフォーラムがおこなわれ、展覧会ではきもの図案展、技術者研修展、絞りサークル展、染織サークル展、織人染人展など地域の染織従事者による年に一度の商売抜きしの勉強会・発表会を続けて来ております。そこで今年は十日町地域活性化への刺激のためにTDAの今年の活動の一つとしてシンポジウムと展覧会の開催をお願いし実現したものです。



会場は(財)十日町地域地場産業振興センターの2階中ホール(約250㎡)で開催されました。展示は11月27日午後より展覧会担当委員梅田幸男氏はじめ橋 喬子、山口道夫、丁 貴正各位ら5名で始まり途中平岡夫妻が合流されました。作品点数は30点で当初はホールの空間が持つか一抹の心配がありましたが、展示が進むにつれ、非常に簡潔で一点一点の作品が自立した主張を持った会場構成となってきました。これは出品作品がデザイナーのポリシーと堅実な仕事によって、見るものに訴えるだけの完成度と強さを持っていることの現れであろうと思いました。内容はタペストリー/スクリーン/ペーパーデザイン/ドレス/ストール/テーブルクロス/ファイバーアート/インスタレーションなど製品としての堅実な仕事から着物デザインに示唆を与える視点を変えた作品、素材の多様性・組織・パターンの面からテキスタイルの可能性に挑戦する試みの作品など、テキスタイルデザインの社会的活動・表現の自由さと領域の広さを大いに印象づけたものとなりました。

事実初日のシンポジウムの後展覧会会場で開かれた、交流パーティーには、新潟県織維協会会長始め地元の若手経営者、デザイナー、企業内デザイナー、展覧会出品者など会場一杯の盛況で、「出品作品の自由な表現に感心させられた」、「こんな世界があったのか」などの反響も聞かれ、大いに関心を寄せていることが感じ取れ、この展覧会が地域に何かの波を起こしてくれることを期待しているところです。

●出品者名：梅田 幸男/大森 克夫/岡崎 明美/小野山和代/
川本 敦久/北川 陽子/木下 幸子/熊井 恭子/
今野 文雄/後藤 圭子/丁 貴正/橋 喬子/
竹垣 恵子/近沢 晴雄/野々口 悟/はましまえつこ/
平岡 美子/山岸 征史/山口 英夫/山口 道夫/
山本 竜一/わたなべひろこ

(レポート 川本 敦久)

